佳

私は私に感動している

広島県 広島県立呉三津田高等学校一年 坂本 由楽

と明るさを取り戻し、生きる希望を失いか 動 し、元気に高校へ通学できているのはいかけていた私が、今、持ち前の笑顔もが奪われていくような感覚だった。 な の境 当 に ま いはい ることに

「大丈夫だよ。ゆらちゃんは一人じゃないから安心しちゃん。学校に行くのがつらくて胸がドキドキする時に私が電話越しに泣き叫ぶ声を聞いて、急いで帰ってきて私が電話越しに泣き叫ぶ声を聞いて、急いで帰ってきてはいつもそばにはおばあちゃんがいて、急いで帰ってきてはいつもそばにはおばあちゃんがいるとを勉強して、様々なと言って、決して悲しむ素振りを見せることなく、辛抱と言って、決して悲しむ素振りを見せることなく、辛抱 試行錯誤 ってく 全て家族 「大丈夫だよ。焦らってくれた料理を私 、決して悲しむ素振りを見せることなく、辛べだよ。焦らないで、ゆっくり治していこうれた料理を私が食べることができなくても、いしながら料理してくれたお母さん。せっかく じなが のそばがのおかが 7 いにげ いた。私が食'いだと言って 私を支えて べられるよう. も過言ではない 治していこうにきなくても、 なも せっかを 0 くて どん が 様 辛 抱 。 毎 な 作日

いたものの、どうにもすることができなかった。当時の私は、みんなに迷惑をかけているとは、はないだろう。はないだろう。と言いながら、優しく、ぎゅっと抱きしめてくて。」 から一生離 一離れること

が族言んいた ぼ私に < な はれそうになる。私は本当に恵まれている。私にも仏に対する対応を思い返してみると、感動して、涙かった私が情けなくてしょうがない。あの時の家、してもらっているのに、「ありがとう」の一言もこのの、どうにもすることができなかった。たくさいの私は、みんなに迷惑をかけているとは分かって か 」の一言も くって も涙 家

きていこうとする勇気を与えてくれ方がいるんだ、そう思えたことが、 れた。 私に、 前を向 いて

へけが に自分を変えることができた。ら、徐々に回復を続けている私 いる私は、 目標に っことが は、高校 る家族 ぬかって前へ前 ベス学をきっか 次に見守られな

している。 でな人だと言って、避けたり、嫌味を言ってされたから に仲良くなり、教室には毎日、笑顔と明るい笑い声があ いつもは元気に見えるのに、競技には参加できない私を でな人だと言って、避けたり、嫌味を言ってきたりする を受け入れてくれた。それは、多くの人にとっては普通 を受け入れてくれた。それは、多くの人にとっては普通 を受け入れてくれた。それは、多くの人にとっては普通 を受け入れてくれた。それは、多くの人にとってはきする、すばらしい出来事だった。 する、すばらしい出来事だった。

ぎ去るような日々を送 味を いた。何の気力も湧いてこず、たを持ち始め、進んで新しいことにな充実した毎日を送る私は、いつ な んとしても、目っなかったことでも って ある。人は、 いてこず、 いたあの時に たち だど たかる高い時には、想像は ただただ 挑 税戦するように か色々なこと 向い壁を乗 - 一日が過いるように するこ

> た、価値ある感動的対象であることを忘れずにいることができた。その壁は決して一人では乗り起ることができた。その壁は決して一人では乗り起ることができた。その壁は決して一人では乗り起また、それと同時に、私自身を前へと、背中を押してくれて私を支えてくれた、そして今も支え続けてくれて私を支えてくれた、そして今も支え続けてくれて私を支えてくれた、そして今も支え続けてくれておい。自分を支えてくれる人たちとの関わりからいた。自分を支えてくれる人だちとの関わりからいた。 ができた。その壁は決して一人では乗り越た、価値ある点動的対象であることができれば、変われるのだということがあることができれば、変われるのだということがあることを忘れずにいた。 うことを